

福島区区政会議市民協働部会

福島区政の取組

経営課題ごとの事業進捗状況

令和6年9月17日開催

経営課題ごとの事業進捗状況

経営課題1「人と人がつながるまちづくり」に関する主な取組

【地域活動協議会の認知度向上に向けた支援の取組（新たな地域コミュニティ事業）】

（6 予算額:16,450千円 5 決算見込額:15,913千円）

「事業概要」

地域活動協議会（以下「地活協」という。）事業へのあらゆる世代の住民の関心を高めるため、中間支援組織（まちづくりセンター）を通じ、次の支援を行う。

- ・地活協が事業に係るアンケート等を実施する際、地域負担を軽減するため、デジタルツールによって容易に集約できるよう支援する。
- ・地活協が事業を実施する際、効果的に広報するため、デジタルスキルの向上を支援する。



研修の様子

「実績」

- ・二次元コードを活用した参加者アンケート等を実施できるよう、中間支援組織（まちづくりセンター）を通じて個別に団体を支援した。
◇実績：地活協 5 団体
- ・デザイン作成ツール（※）による地活協事業の周知チラシ作成、SNS投稿の手法を中間支援組織（まちづくりセンター）を通じて支援した。
◇実績：研修方式（地活協 1 団体、3 日間実施、10 名程度参加）
個別支援方式（地活協 1 団体）
※PCやスマホで簡単にSNS投稿やポスター、チラシ制作ができるデザイン作成ツールで「Canva」「デザインAC」などをいう。
- ・今夏の盆踊り大会において、二次元コードを活用した参加者アンケートを実施し、アンケート結果を速やかに集約できた。
◇実績：地活協 3 団体（地活協 1 団体で実施予定）
- ・今夏の盆踊り大会のチラシや事業報告をデザイン作成ツールを活用して作成し、地域住民に回覧した。
◇実績：地活協 1 団体（地活協 1 団体で実施予定）

「課題」

- ・デジタル活用への抵抗感などがあり、活用について地域に差が生じている。

「今後に向けて」

- ・デジタルツールを活用した情報発信等の有効性を分かりやすく伝えるため、他の地活協の取組を共有するとともに、デジタル研修を引き続き実施する。



各地活協で作成したチラシ

経営課題ごとの事業進捗状況

経営課題2「安全・安心なまちづくり」に関する主な取組

【地域防災事業（要援護者対策用防災備蓄物資購入）】

（6 予算額:10,107千円 5 決算見込額:0円）

≪事業概要≫

- ・いつ起こるかもしれない南海トラフ地震などに備え、避難所に来られる要配慮者を含むすべての避難者を対象に、少しでも安心して避難生活を送ることができるよう災害時避難所及び区役所、福祉避難所に防災備蓄物資を拡充する。

≪実績≫

- ・次の防災備蓄物資を配備。（各施設管理者と調整し、令和6年度末までに配備予定）

防災備蓄物資名	災害時避難所 (13か所)	区役所	福祉避難所 (13か所)
①ポータブル電源 (1000Wh、ソーラーパネル付)	各2台	2台	-
②マルチパネル式LEDランタン	各5台	5台	-
③水電池 20年保存 (1箱100本入り)	各1箱	1箱	-
④災害時用羊羹 5年保存 (1箱100本入り)	各3箱	10箱	各3箱



※ 災害時用携帯トイレ

- ・区で配備を予定していたところ、能登半島地震を受けて、大阪市危機管理室が一般会計補正予算によって避難所に必要な携帯トイレを追加配備することになった(各施設への数を調整し、令和7年2月頃配備予定)。

≪課題≫

- ・令和6年1月に発災した能登半島地震では、多くの住民が避難所に避難したが、その際にトイレトーパーと生理用品の不足が深刻な課題となった。避難所では生活必需品が限られており、特にこれらの衛生用品の供給が追いつかず、多くの人々が不便を強いられた。避難者に安全かつ健康的な生活環境を提供するため、現在災害時避難所に不足している当該備蓄物資を拡充する必要がある。

≪今後に向けて≫

- ・次の備蓄物資の追加配備を検討する。
 - ①災害用備蓄生理用品10年保存
 - ②災害備蓄用トイレトーパー10年保存 など



経営課題ごとの事業進捗状況

経営課題5「魅力あふれるまちづくり」に関する主な取組

【福島区にぎわい創出事業】

(6 予算額 : 2,410千円 5 決算見込額 : 2,246千円)

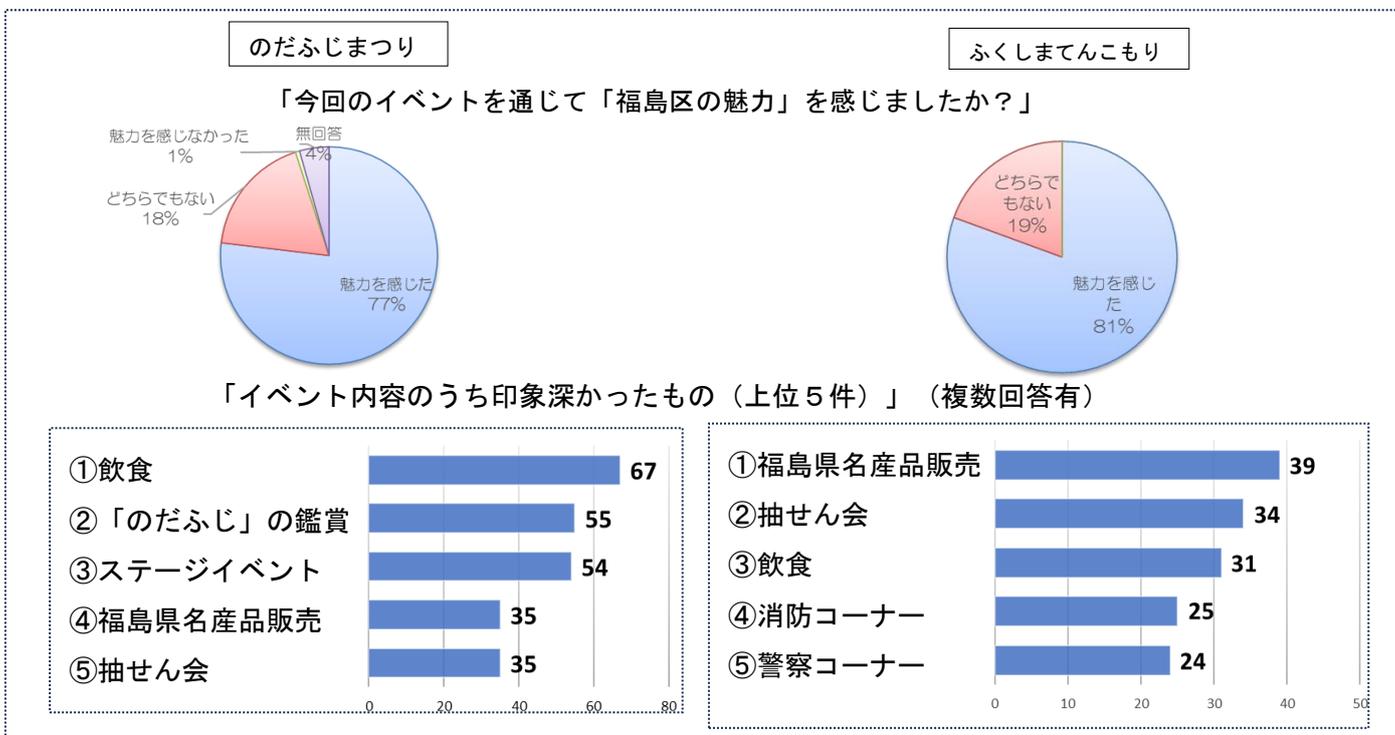
「事業概要」

- 「のだふじまつり」は平成31年度より、区の花「のだふじ」を区内外にPRし、区の愛着醸成やまちの活性化を目的として花の開花時期に開催する。
- 「ふくしまてんこもり」は令和元年度より、区の魅力を再発見する機会を提供するとともに、健全で安全安心なまちづくりとまちの活性化を目的としてイベントを開催する。



「実績」

- 「のだふじまつり」(6.4.14開催、160名)「ふくしまてんこもり」(5.11.12開催、108名)アンケート結果



「課題」

- 各イベントとも、それぞれの事業目的を十分伝えきれていないのではないかと懸念している。

「今後に向けて」

- それぞれの開催目的を明確に掲げ、のだふじの魅力や健全で安全安心なまちづくりを一層PRできるよう、開催内容を部分的に見直す。

